



特集	P ②
国際貢献・協力セミナーの事業報告	
事業報告	P ③
地球市民講座	
英語で話そう ほか	P ④～⑥
岡山県国際交流協会の語学講座紹介	P ⑥
韓国語講座紹介	
外国人紹介エッセイ 私の何でも自慢	P ⑦
ダンテ・ローレンスさん	
ボランティア活動しています!	P ⑧
グエン・メイン・カーさん	
作ってみよう!世界のレシピ	P ⑧
プール・オ・ブラン (フランス)	
JICA×岡山	P ⑨
岡山デスクの活動紹介	
イベントカレンダー	P ⑩
多文化共生コミュニケーションサポーター	
研修会ほか	

おかやま 国際交流



令和5年10月14日(土)

令和5年度「国際貢献・協力セミナー」伊藤 聡子氏講演会 「国際協力～共創でつくる世界～」

講師:フリーキャスター、事業創造大学院大学客員教授 伊藤 聡子氏

共催:岡山発国際貢献推進協議会 後援:JICA中国、特定非営利活動法人 岡山県国際団体協議会

県民の国際貢献に対する理解を深め、国際貢献活動への参加を促進することを目的として、10月のおかやま国際貢献月間に「国際貢献・協力セミナー」を開催しました。

当セミナーは年に一度開催しており、今年度はテレビ番組「地域にエール!まちカケル」の進行や、「ひるおび!」「ミヤネ屋」のコメンテーターとしておなじみの伊藤 聡子氏を講師に迎え、ご講演いただきました。講演会には約60名の参加者が来場し、講師のアジア各地の現地訪問・取材に基づくお話を聴き、世界の現状に思いを巡らせました。(詳細は次のページをご覧ください。)



特集

令和5年度 国際貢献・協力セミナー 「国際協力～共創でつくる世界～」

講師：フリーキャスター、事業創造大学院大学客員教授 伊藤 聡子氏
令和5年10月14日（土）

講演会

キャスターとして活動する伊藤氏は、世界で何が起きているのか知るためにJICAを通じてアジアの国々を訪問し、青年海外協力隊の活動やBOPビジネスを進める中小企業の現場を視察してこられました。同時に、貧困を解決するにはビジネスによる課題解決が必要であると、MBA（経営管理修士）を取得され、ビジネスを通じた課題解決について研究されています。

伊藤氏は、現地を訪問して見聞きした企業や人々の声、その土地で感じた空気、滞在中のエピソードなどを交えながら、途上国とWin-Winの関係を構築するためにビジネスを通じて国際貢献・協力活動を行う日本の中小企業の取り組み事例やBOPビジネスのポイントなどを紹介されました。

また、岡山での国際貢献の例として、マレーシアの課題解決のためパームオイルをろ過した後の残りを燃料として野菜を育てている岡山の企業を紹介するとともに、外国人技能実習生を地域住民として受け入れ、交流することも身近でできる国際貢献であると参加者にアドバイスを送りました。伊藤氏は、世界中の人々が尊厳を持ち、生きていくことができるよう「共により良い未来・世界を創りましょう」と締めくくられました。



BOPビジネス

BOP (Base of the Economic Pyramid) は、世界の所得別人口構成ピラミッドで最下層に位置する年間所得が3,000ドル以下の低所得者を指し、人口の約7割を占める。

BOPビジネスは、こうしたBOP層にとって有益な製品・サービスを提供することで、当該国の生活水準の向上に貢献しつつ、企業の発展も達する持続的なビジネス。

参加者の声

- BOPビジネスが日本や世界にとって可能性のあるビジネスだと知ることができ、単なる国際貢献・協力という枠組みを超えて、今後の共生に向けて希望が見える話でした。
- 講演を聞き、自分がやりたい学びをどのように国際貢献に生かせるか、自分が将来どのようなことをやっていきたいのか、あらためて考える機会になりました。
- お互いがWin-Winになるチャンスは色々などころにあるという事を知ることができました。自分の気が付きが、小さいようでも世の中に役に立つかもしれないということを教えてもらったような気がします。
- 実際に現地に赴き、多くの事例を経験されていて、お話に説得力がありました。

講師:星野 ルネ氏(漫画家、タレント)

講演:「アフリカ少年と考えよう!多文化共生について-日本人が知らない日本のこと-」

カメルーン出身で4歳から兵庫県姫路市育ちの星野氏。見た目はアフリカ人、中身は日本人として育ってきた経験を、漫画と共に語りました。星野氏は、“日本人が知らない日本のこと”、つまり星野氏の経験、世界のこと、日本人でも誰もが同じではないことを知ってもらうことが、漫画を描くモチベーションだといいます。45名の参加者は、星野氏の笑いあり、涙ありの話に引き込まれ、質疑応答では予定時間を超える多くの方から質問がありました。星野氏はよく

“あなたはなに人ですか?”と聞かれるといいます。

ルーツはカメルーンだけれど、日本もカメルーンも大切でどちらかを選ぶことなんてできない。そして出た答

えが、国籍のない**地球人!**でした。

この“地球人”こそが、アフリカ少年、星野氏が日本で育った結果なのです。また国籍や違いだけに目を向けるのではなく、自分の好きなことで仲間=部族を作り、交流の輪を広げると、お互いの理解が深まるのではと提案されました。ちなみに星野氏は**想像や創造に夢中族**の一人だそうです。

最後に星野氏は「生きづらいと思っている子どもにとって大切なのは、周りの大人が選択肢をできるだけ多く作ってあげること。そして何よりも大切なのは笑顔で受け入れる姿勢です!」と話されました。

参加者の皆さんは星野氏の話、温かいお人柄に魅了されました。日本の常識にとらわれず、星野氏の“地球人”という考え方が広まったら、住みやすく優しい日本、世界になるのでは。そう考えるきっかけになった講演でした。



講師 星野 ルネ氏

“アフリカ人やから足速いやろ?”
その先入観が
つらかった...



星野氏が子どもの頃

地球人という考えに共感した。
深く考えさせられる視点がたくさんあった。
(参加者より)



会場の様子



あなたは何族?!

☆星野ルネ氏 著書紹介☆

「まんが アフリカ少年が日本で育った結果」 毎日新聞出版

「まんが アフリカ少年が日本で育った結果 ファミリー編」 毎日新聞出版

「まんが アフリカ少年が見つけた 世界のことわざ大集合

星野ルネのワンダフル・ワールド・ワーズ!」 集英社



星野ルネ氏
X(旧Twitter)

英語で話そう -Let's Speak English-

令和5年8月5日(土)

講師:ムタミア・エドナ・キルンバ氏(岡山大学大学院博士課程 JICA研修員 ケニア)

ケニア出身のエドナさんを講師として迎えアフガニスタン、米国、中国、日本、ベトナム出身の計42名が、さまざまなアクティビティを英語だけで楽しみました。受付時から英語しか話せないという異空間で、小学生から大人まで幅広い年齢層の参加者が、明るいエドナさんのもと最後にはとても仲良くなっていました。



講師のエドナさん

まずは“コンセントレーション”という輪になりお互いの名前をテンポよく呼び合うゲームです。

これで初対面の氷を破りました!

次にケニアのビーチ、食べ物やマサイ族文化、言語などの紹介後、グループに分かれ、渡されたカードから連想する短編物語を作り発表しました。エドナさんの歌、踊りの披露も!そしてメインイベントのフリートークです。パーティのように自由にいろいろな人と交流しました。“さまざまな方と英語で話すことができて楽しかった”“新しい文化を知ることができた”など多くのポジティブな感想が寄せられました。英語漬けの2時間は多様な文化を知り、交流した参加者の笑顔があふれるイベントとなりました。



最後は笑顔でLove and Smile!



おしゃべりタイム



Concentration!集中!名前覚えてる?

子ども日本語学習サポーター研修会

令和5年8月26日(土)

講師:内田 雅子 氏(公益社団法人国際日本語普及協会 日本語講師)

大切なことは、一方的ではなく、やりとりすること

児童生徒の日本語学習の支援を行う「子ども日本語学習サポーター」としての活動で、最も重要なことは「やりとり」だと語った講師の内田氏。「やりとりを通して、子どもは自分の頭で考えます。そのことが



講師の内田雅子氏

知識の定着につながり、そしてサポーターとの信頼関係の構築にも役立ちます」——現在活動中のサポーター、まだ活動経験のないサポーター、そして新規登録希望者という合計35名の参加者は、それぞれの立場で内田氏の言葉から学びと励ましを得ました。

今回は中学生への支援に焦点をあて、実用的な支援方法や教材の情報を豊富に得ることができる研修会となりました。参加者のひとは「これから中学生への日本語学習支援を行う予定。不安に思っていたが研修会で具体的なことを学んだので勇気が出た」と前向きに話っていました。



グループトークをする講師と参加者

日本文化体験・交流会

令和5年9月2日(土)

風呂敷体験講師:一般社団法人大学女性協会岡山支部 矢吹 眞弓氏
オリジナル扇子作り講師:一般社団法人大学女性協会岡山支部 杉村 勝子氏
共催:一般社団法人大学女性協会岡山支部



在住外国人と日本人11名が風呂敷体験とオリジナル扇子作りに挑戦しました。風呂敷体験では、歴史を聞いた後、お使い包み(四角いもの)、びん包み(長いもの)、すいか包み(丸いもの)の包み方を体験しました。風呂敷を実際に手に取る機会がない参加者には、1枚の布がさまざまに変化することは新鮮な驚きだったようです。

オリジナル扇子作りでは、見本を参考にしたり、事前に考えてきた絵を描いたり、自分の名前をデザインしたり、その場のインスピレーションと、各自の自由な発想で取り組みました。作製過程も楽しみ、さまざまな扇子が出来上がりました。

日本で日常的に使われている風呂敷は、ものを「包む」「運ぶ」「かさばらない」という機能面だけではなく、デザイン性にも優れ、現在では海外からも注目されています。また、扇子は湿気の多い日本で「扇ぐ=風を送る」ものとして定着してきました。バッグから簡単に取り出して使用できる使い勝手のよいアイテムです。

日本人の知恵が生み出し、今日まで、伝統文化として生きている「風呂敷」と「扇子」を通じ、日本をもっと身近に感じていただきたいと思います。



風呂敷体験



オリジナル扇子作り

やさしい日本語研修会

令和5年9月16日(土)

講師:独立行政法人国際交流基金 日本語国際センター 専任講師 高 偉建 氏

研修会では参加者が事前に考えてきたやさしい日本語の書き換え案をもとにグループワークを行い、参加者はどこが難しかったか、どうしたらもっとやさしくなるかなど、活発に話し合いました。使用した単語や文章の難易度を測る2つのチェック用ツールを使って、原文と書き換えた文のやさしさレベルを確認したり、講師の講評を聞いたりしました。日本語の指導者であり、学習経験者でもある中国出身の高氏は、自身の経験から日本人には当たり前でも外国人には難しいと感じる表現や、手に取り読んでもらうための工夫も必要と伝えました。最後に高氏は富士山を例に、「外国人が頑張って登ってくるのを頂上で待っているだけでなく、日本人も下っていき、山の途中で合流できたらちょうどよい。出会えたら伝わるはず。」と締めくくりました。



- 研修でも使用した、チェック用ツールはウェブ上で誰でも使えるように公開されています。

「やさしにちチェッカー」
<http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichil/nsindan/>



「リーディングチュウ太」
<https://chuta.cegl.oc.tsukuba.ac.jp/>



グループワークの様子

本を使ったクイズ大会を開催しました!

令和5年10月28日(土)

10月28日(土)に、岡山国際交流センター4階にある図書資料室で、世界にまつわるクイズ大会を開催しました。

クイズの出題者は留学生コンシェルジュのカクさん、ユリカさんです。

参加者は、図書資料室にある本の中から、クイズの答えを探します。

参加者の皆さんからは、「久しぶりに本で調べるという作業が楽しかった」、「また図書資料室に来てみたい」と、好評でした。

クイズの後は、おしゃべりタイムです。

参加者は日本語、英語、中国語のグループに分かれ、さまざまな言語でおしゃべりしました。

「どんな本が好きですか?」、「図書館の思い出は?」など、本をテーマに話が盛り上がり、時間が足りなくなるほどでした。

普段は静かな図書資料室が、さまざまな言語であふれ、にぎやかなひと時となりました。



クイズ出題者のカクさん



クイズの答えを探す参加者



さまざまな言語でおしゃべりを楽しました

★クイズに挑戦!★

インドネシアで行われている「プアサ」とは、何でしょう?

答えは…図書資料室で調べてみてくださいね!

一般財団法人岡山県国際交流協会

語学講座のご案内

インドネシア語・韓国語・中国語・日本語講座が協会で開催されています。
今回は**韓国語講座**のご案内です。



受講生皆さまのご要望により、今年度より中級クラスが新たに加わりました!!
入門、初級、中級、会話の4クラスがあり、毎年5月に開講します。

韓国語ミニ講座

挨拶の言葉「안녕하세요?」「안녕하세요?」は一日中、誰にでも使える丁寧な挨拶です。(朝、昼、晩の違いはなし!)
안녕은「安寧」という意味で안녕하세요は安寧ですか?と相手の無事を願う言葉です。
「안녕하십니까」は最上級の丁寧語で、「안녕」は友人などに使います。

ここで講師お二人のご紹介です!



キム ヤンヒ
金 良禧先生【初級・会話】
韓国光州(クァンジュ)出身



キム ユニ
金 允姫先生【入門・中級】
韓国ソウル出身

どちらの先生の授業も優しく丁寧、そして楽しいです!
皆さんが韓国語を始めたきっかけは、「字幕なしでドラマ、映画を見たい」「K-POPにはまった」「韓国に行って韓国語でコミュニケーションを取りたい」などさまざまです。

そして順調にその夢がかなっているようです! 来年度一緒に勉強を始めませんか?



会話授業 テーマは秋●



中級授業 まずは近況報告から!👉



外国人エッセイ

私の何でも 自慢

だんて ろーれんす
ダンテ・ローレンスさん
（米国 ニュージャージー州 メタツチェン）

- 所属：就実大学
- 日本滞在歴：29年



大学でのお仕事以外に岡山市外国人会議などでも活躍中のダンテ・ローレンスさんに伺いました。

出身地について教えてください。

ニュージャージー州は米国の東海岸にある、比較的小さいながら多様性に富んだ州です。北部には山、中部には工業地帯、南部には農業地帯が広がり、美しいビーチが有名です。



州北部の風景

私が育ったメタツチェンは、ニュージャージー州の中部に位置している小さな町で、住民の多くは電車で40分程のニューヨーク市に通勤しています。メタツチェンは緑豊かで静かな町で、その古き良き「Downtown」（街の中心）の美しさから、「Great American Main Street Award 2023」を受賞しました。子どもの頃は、世界的に有名な国連本部、メトロポリタン美術館、アメリカ自然史博物館、ブロードウェイなどニューヨークでワクワクする時間を過ごしては、平和で安全なメタツチェンに帰宅するといった時間を過ごしました。



州南部の美しいビーチ

日本で働くと思ったきっかけは？

母はアジアの美術品に興味があり、家には墨絵や掛け軸が飾られていました。私はそれらに魅了され、いつかこのような素晴らしい作品を生み出した文化について勉強したいと思っていました。武道にも興味を持つようになり、少林寺拳

法、空手に励みました。大学で日本美術史、仏教の中でも特に禅仏教などを勉強するうちに日本に行きたいと思うようになりました。



「Great American Main Street Award 2023」を受賞したメタツチェンのDowntown

来日してから印象に残っていることはありますか？

卒業後、日本政府の募集したJETプログラムの3期生として平成元年に英語教師として日本に来日してから姫路市、福岡市、熊本市でも暮らしましたが、今では岡山市での生活が一番長くなりました。仕事以外では、日本史について比較的詳しくしたので、姫路城の「English Guide」になり、世界中の観光客に城の素晴らしさを伝えたことが印象に残っています。

岡山での生活について

岡山県はニュージャージー州と同様に、自然が豊かで、北部には山、南部には平野が広がり、美しい瀬戸内海に面しています。私は山に登ったり、渋川や牛窓の海岸を散策したりすると日頃の疲れも吹き飛んでリフレッシュすることができます。また、岡山の歴史に心引かれ、岡山城、後樂園、曹源寺、備中高松城跡、備中松山城、倉敷美観地区など、例を挙げればきりがありませんが、何度も足を運び、独学ですが少しずつ詳しくなってきました。

食べ物もおいしい、緑豊かな県ですので、心穏やかに暮らしています。今は仕事が忙しいのでできませんが、将来は姫路でも行っていたように岡山城や後樂園の「English Guide」になればと思っています。

ボランティア活動しています！

がいこくしょうかい ぼらんていあ
外国紹介ボランティア
 ぐえん まいん かー
グエン・ミン・カーさん
 べとなむしゅしん
(ベトナム出身)

ボランティアを始めたきっかけ

日本に来た時、あまり日本人の友達がなかったので、外国人コミュニティの中にいました。当時は学校も始まったばかりだったので、岡山駅周辺のおもしろい活動を調べてみたら、岡山国際交流センターができました。

きっかけは偶然でしたが、実際に入ってみたら、意外と活発に活動していて驚きました。国際交流協会の方が親切なので、何か困ったことがあったら、いつも助けてくれます。



イベントで参加者と交流するカーさん



グローバルビレッジでベトナムに関するクイズを出題しました

ボランティア活動をしてよかったこと

奈義町のグローバルビレッジというイベントで子どもたちに母国の文化などを紹介したり、月1回のおしゃべりサロンでさまざまなトピックについて話したりしています。活動を通して、人前でスピーチをすることに自信が付き、友達もたくさんできました。外国文化紹介の活動を通じて、自分のふるさどについて分からないことがたくさんあることに気が付きました。ベトナム人として自国のことをもっと理解し、ベトナムのおもしろさを幅広く伝えていきたいと思っています。

作ってみよう！ 世界のレシピ

りばもんてい らふあえる
Ripamonti Raphaelさん
 (フランス ノルマンディー地方出身)

フランス・
 ノルマンディー州の
 ソウルフード
「Poule au Blanc」

ノルマンディー州の家庭で作られる日曜の昼食の定番メニュー：鶏肉、野菜とお米、ベシャメルソース。この料理の特徴は鶏肉を丸ごと使うところにあります。

材料 (5~6人分)

- 親鳥丸ごと (なければ骨と皮付きもも肉) 1200g
- かぶまたはダイコン 500g
- ニンジン 4本
- 白ネギ 2本
- セロリ 1本
- タマネギ 1個
- マッシュルーム 6~8個
- ブーケガルニ (皮つきのニンニク1かけ + (ローリエ1枚+タイム+パセリ))
- 生クリーム 200cc
- 小麦粉 大さじ1
- バター 40g
- クローブ 2本
- 塩コショウ
- お米 3合

作り方

- 大きい鍋に鶏肉と水(4L以上)を入れて中火で煮込む。強く沸かないように気を付ける。あくが出たら取る。
- 野菜を洗い、かぶとニンジンの皮をむく。マッシュルームを縦半分に切る。白ネギ、かぶ、ニンジン大きめに切る。
- タマネギの根っこと先を切って、皮をむく。タマネギにクローブを刺す。
- ブーケガルニを作る：皮つきのニンニク、ローリエ、タイム、パセリを白ネギの青い葉っぱにひもでくくる。乾燥ハーブを使う場合、お茶袋にいれても良い。
- セロリと③と④を①の鍋に加える。塩コショウを加えて、90分弱火で煮込む。
- ベシャメルソースを作る：中型の鍋にバターを入れて中火で溶かす。小麦粉を加えて1分ほど混ぜながら温める。①のスープをおたまで2杯入れて混ぜる。とろみが出たら火を止めて、生クリームと塩コショウを加えてしっかり混ぜる。
- ⑤(600cc~650cc)を使ってお米を炊く。
- ④とセロリを①から取り出して、③を入れて30分煮込む。
- 盛り付け：お皿に肉ひとかたまりとご飯と野菜を並べて上からベシャメルソースをかける。パセリやセロリの葉っぱが残っていれば盛り付けに使う。



フランスの家庭料理に興味がある方は、ラファエルさんのインスタグラムをフォローしてください。





岡山国際交流センター1階にある、岡山県JICAデスク。JICA（独立行政法人 国際協力推進機構）の中国地方拠点であるJICA中国の窓口として、岡山県で国際協力に携わる人や組織をつなぐ活動をしています。

岡山県JICAデスクの活動って？ ～いろいろある中、2つご紹介～

活動① 国際協力に関わる仲間を増やす

人生なんて、きっかけひとつ。でも、最初の一步を踏み出すのは、勇気のいること。「国際協力って、自分には遠いもののように感じる。」という方も多いのではないのでしょうか。

岡山県JICAデスクでは、「国際協力に関心はあるけれど、何から始めればいいかわからない。」「海外協力隊に参加してみたい。でも、自分にできることがあるのかな。」など、さまざまな思いを持つ方のご相談を受けています。また、学校などで、国際協力や異文化理解に関する出前講座を行っています。参加者と一緒に考え、学び合うのは、とても刺激的です。JICA中国の学生向けプログラムにも参画します。例えば、「高校生国際協力体験プログラム」や、国際協力と地域づくりがテーマのフィールドワーク合宿。終了後も、得られた経験を生かした取り組みに伴走できるのが、デスクの活動の楽しいところです。

活動② 国際協力に関わっている人や組織をつなぐ

「国際協力を日本の文化に」。これは、JICA（市民参加協力事業）のキャッチフレーズです。岡山は、その素地がある地域。国際協力に携わる人や組織が出会い、協働できたら、より大きな動きが生まれる！そんな思いで、人や組織をつなぐ活動に関わっています。

その一つが、社会課題にJICAとともに取り組むNGO、企業、大学の活動について発信し、見える化すること。また、連携の可能性について、多様な関係者と一緒に考えています。

県内の組織とJICA研修員の協働にも関わります。例えば、岡山県国際交流協会によるプログラムへのJICA研修員の参画。また、今年9月には、JICA中国がJICA研修員を対象に実施した、企業訪問ツアーに同行しました。訪問したのは、開発途上国の社会課題に取り組む2社。企業と研修員が関心を持ち合う良い機会となりました。いずれ、ビジネスパートナーになるなど、今後のつながりに期待が膨らんでいます。



高校生国際協力体験プログラムでのアクションプラン作成



企業訪問ツアーにて

国際協力に関するご相談は岡山県JICAデスク（長谷川）まで。

E-mail : jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp / 電話 : 080-2934-8497

Facebook : <https://www.facebook.com/jica.okayama>

〈会場はすべて岡山国際交流センターです。問合せ・申込みは企画情報課まで。〉

1 月

多文化共生コミュニケーションサポーター研修会

学校や行政機関の窓口等で外国人のサポートをする通訳ボランティアに必要な知識や心構えについて学びます。

- と き 令和6年2月11日(日)
- 対 象 岡山県国際交流協会の「多文化共生コミュニケーションサポーター」制度の登録者及び新規に登録を希望する方。
※日本語とその他の言語で円滑に意思疎通ができる方
- 参加費 無料
- 定 員 25名程度(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(1月中旬受付開始予定)

2 月

ボランティア交流会

講演やボランティア同士の交流を通し、ボランティア活動への理解を深めます。

- と き 令和6年2月10日(土) 10:00~12:00(予定)
- 対 象 ①当協会ボランティア登録者(新規登録希望者も可)
②ボランティア活動に関心のある方
- 参加費 無料 ●定 員 40名(要申込み、先着順)
- 問合せ 企画情報課(令和6年1月中旬受付開始予定)

災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修会

災害時に通訳・翻訳で外国人を支援するための知識を身につけます。参加者には、防災グッズをプレゼント!!

- と き 令和6年2月17日(土)
- 対 象 ①岡山県災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)登録者
②外国語通訳・翻訳の知識を有する方で、災害時の外国人支援に関心のある方
- 参加費 無料 ●定 員 40名(要申込み、先着順)
- 共 催 岡山県、岡山市、倉敷市(予定)
- 問合せ 企画情報課(令和6年1月中旬受付開始予定)



会報誌アンケートのお願い 今後の参考にさせていただくため、ご協力をお願いします。

『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展(県立美術館開催)チケットを5名様にプレゼント!

令和6年1月6日(土)までにアンケートにご協力いただいた会員の中から抽選で5名の方に、岡山県立美術館で開催される標記原画展「(会期:令和5年12月15日(金)~令和6年2月18日(日))」のチケット2名分をお送ります。発表は発送をもって代えさせていただきます。



『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展

『週刊少年ジャンプ』2016年11号より連載が開始された、漫画家・吾峠呼世晴氏による『鬼滅の刃』。主人公・竈門炭治郎を中心に、人と鬼とが紡いだ切ない物語は鬼気迫る剣戟、時折コミカルに描かれるキャラクターたちが人気を呼び、コミックス全23巻で累計発行部数が1億5000万部を突破(電子版含む)しました。本展覧会では作者・吾峠呼世晴氏の想いの詰まった直筆原画を多数展示し、連載終了後も注目を集める本作の魅力、世界観を余すことなく伝えます。

©吾峠呼世晴/集英社



会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円
賛助会員: 30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail: kokusai@opief.or.jp

最新情報は、当協会のホームページやFacebook、X(旧Twitter)等で随時お知らせします。



ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram

問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会 企画情報課

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~17:30)

[休館日] 12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内 一般財団法人 岡山県国際交流協会
☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)
☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

X(旧Twitter): https://twitter.com/opief_okayama

Instagram: https://www.instagram.com/opief_okayama/

E-mail: kokusai@opief.or.jp